

＜服装・持ち物＞

- ・登下校は標準服（長ズボン可）・安全帽（黄）を着用し、名札をつける。
- ・安全帽には白いゴムであごひもをつける。
- ・髪の毛の脱色、染色、パーマをしない。
- ・もみ上げやえりあしは自然に刈り、極端に短くしたり、長くしたりしない。
- ・髪の毛が肩にかかる場合は、黒系の飾りのないゴムで結ぶ。
- ・標準服の下には、えりのある白のシャツ、またはブラウスを着る。
- ・冬季、寒い場合は、標準服の下に、黒・紺・白のベストまたはセーターや制服を同じ生地 of 長ズボンを着用してもよい。
- ・シャツはズボンに入れる。
- ・靴下は白色か黒、紺系とし、足首まで隠れるものとする。
- ・内履きズックの色は白とする。（市販のスクールシューズを基準とする。）
- ・給食の配膳の時にはマスクと頭巾と給食服を着用する。
- ・体育の服装は以下のようにする。
 - 赤白帽子（記名、ゴムひもをつける。）
 - 白の運動服（左胸部に白い布で名前をぬい付ける。縦5cm、横10cmの白い布に姓を書き、姓の上（下でも可）に、学年の色でラインを引く。学年カラーが白の場合は、引かない。
 - 紺のクォーターパンツ（後ろに名前をつける）
- ・冬はウォーミングアップ時のみジャージ等を着用してもよい。
- ・体育の時はタイツを脱ぎ、靴下を着用する。
- ・水泳の授業に使う水着は、学年カラーの水泳帽とスクール水着、または競泳用の水着を着用する。
- ・清掃の際は上着、スカートを脱ぐ。寒いときは上着を着てよい。
- ・持ち物すべてに名前を書く。
- ・学校に関係のない物はもってこない。
- ・必要な物がある場合は、担任に相談する。



＜学習用具のきまり＞

- （1）筆箱について
 - ・箱形で無地の筆箱を使用する。
 - ・筆箱の中身は削った鉛筆4～5本、赤青鉛筆（模様なしで筆箱の中に入るもの）
 - ・定規（15cm程度で読みやすいシンプルな物）1本
 - ・消しゴム（白くよく消え、においのないもの）1こ
 - ・ネームペン1本 ※鉛筆キャップは使わない。
- （3）道具箱の中
 - ・水のり・下じき・はさみ（キャップのついたもの）
- （4）各学級で指定されたノートを使用する。

- （5）学年に応じて、必要な物を用意する。
 - 三角定規・分度器・コンパス・リコーダー
 - 色鉛筆・クレヨンまたは、パス
 - 粘土板（これまで使っていたものでよい）
 - 習字セット・裁ほうセット・絵の具セット
- （6）読書バック（本を入れる布製のバッグ）

＜登下校＞

- ・決められた通学路を通る。
- ・始業時間に間に合うように、8時10分までに登校する。始業時間の8時15分に登校していない場合は遅刻となる。
- ・登校後は忘れ物をしていても家に取りに戻らない。
- ・寄り道をせずに帰る。（畑や人の家の庭で遊ばない。）
- ・下校後は校舎に入らない。（やむを得ない事情がある時のみ、保護者同伴で来校すること。）

＜校内生活＞

- ・授業では
 - 3分前教室、1分前着席を徹底する。
 - 身なりを正し授業開始・終了のあいさつをしっかりとする。
 - 正しい姿勢で学習する。
 - 丁寧な言葉遣いで話す。
- ・休み時間は
 - 次の時間の学習の準備をする。
 - 廊下や階段は静かに右側を歩く。
 - 外で遊ぶ時は、運動場で遊ぶ。
 - 遊んではいけない場所（駐車場、畑、学校の裏やプール周辺）
 - カードゲームで遊ぶ時は、ルールを守って遊ぶ。
 - ルールが守れない場合、カードゲームを職員室で預かる。
- ・クロームブックの使い方
 - 学習に関係することを使用する。
 - 休み時間には使用しない。
 - 授業や委員会で使用する時は先生の許可をとる。
 - 1日の終わりには充電保管庫に入れて充電する。
 - 使い方を守れない場合は職員室で預かる。

＜校外生活＞

- ・地域の行事には学校や保護者と相談の上、参加する。
- ・行き先、帰る時刻を知らせて外出する。
- ・暗くなる前に帰る。（夏季18:00秋分の日まで・冬季17:00春分の日まで）
- ・人の敷地に勝手に入らない。
- ・大人の人がいない、許可のない場合は友達の家に入らない。
- ・お金や物の貸し借りをしない。
- ・自転車に乗るときはヘルメットをかぶる。
- ・自転車は安全教室（3年）を受けてから、ルールを守り安全に乗る。
- ・危険な遊びをしてはいけない。（法律・条例）
- ・子どもだけで校区外に遊びにいつてはいけない。